

**2016年の回顧と2017年の展望**  
**～景気回復に向けていま為すべきことは？～**

2017年2月23日(木)

## 2016年の回顧と2017年の展望

- |             |    |
|-------------|----|
| 1. ブラジル経済動向 | 2  |
| 2. 銀行業界動向   | 16 |
| 3. 保険業界動向   | 20 |

# 1. ブラジル経済動向

# 2016年の主なトピックス

### ペトロbras社を巡る汚職捜査の進展

- 3月4日、連邦警察がルーラ元大統領の身柄を一時拘束する事態に発展。
- 11月、オデブレヒトグループは連邦検察との司法取引を実施。
- 警察・検察による捜査(“ラヴァ・ジャット作戦”)は、第37ステージまで進展。

### Moody's社ソブリン格下げ(2月)

- 米国格付機関のMoody's社は、債務状況悪化や政治的混乱に伴う財政再建の遅れの懸念から、外貨長期格付を「Baa3」から「Ba2」に格下げ実施。
- 主要格付機関3社によるブラジルソブリン格付は、いずれも「投機的水準」に。

	2014年末		2015年末		2016年12月	
S&P	BBB-	安定的	BB+	ネガティブ	BB	ネガティブ
Moody's	Baa2	ネガティブ	Baa3	ネガティブ	Ba2	ネガティブ
Fitch	BBB-	安定的	BB+	ネガティブ	BB	ネガティブ

### ルセフ大統領弾劾成立 ／テメル政権発足 (5月－12月)

- 5月12日、上院本会議にて、ルセフ大統領の弾劾裁判開始を可決。弾劾手続きによるルセフ大統領の職務停止に伴い、テメル副大統領が大統領代行に就任。
  - 8月31日、上院本会議にて圧倒的多数でルセフ大統領弾劾成立。同日、テメル氏が正式に大統領に就任。
  - 5月の暫定政権発足以降、12月末までの間に7閣僚が辞任。また、政権支持率は10%まで低下しており、政権を取巻く環境は厳しい状況が継続。
- 10月18日－20日、テメル大統領訪日。伯国大統領の公式訪問は11年ぶり。
- 12月13日、財政改善策の一つである「歳出上限法」が上院にて承認。

### リオオリンピック開催 (8月)

- 8月3日～21日にかけて、南米初の夏季オリンピックがリオデジャネイロ市にて開催。
- 準備遅延やジカ熱等の問題が懸念されたものの、特段のアクシデントもなく、成功裡に終了。

# 主要マクロ経済指標の推移と予測

金融部会

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年 見込み	2017年 予測	備考
GDP成長率(%)		1.9	3.0	0.1	▲3.8	▲3.5	0.5	
名目 GDP	(BRL/10億)	4,806	5,316	5,521	5,904	N.A.	N.A.	
	(USD/10億)	2,459	2,464	2,345	1,769	N.A.	N.A.	
貿易収支(USD/10億)		19.4	2.3	▲4.1	19.7	47.1	47.3	
小売売上動向指数(%)		8.4	4.3	2.2	▲4.3	N.A.	N.A.	
基礎的財政収支(BRL/10億)		105	91	▲33	▲116	▲170	▲139	
株価【BOVESPA】(ポイント)		60,952	51,507	50,007	43,350	60,227	N.A.	2016年確定値
政策金利【Selicレート】(%)		7.25	10.00	11.75	14.25	13.75	9.50	2016年確定値
インフレ率【IPCA】(%)		5.84	5.91	6.41	10.67	6.29	4.43	2016年確定値
為替レート(リアルドル)		2.0516	2.3621	2.6576	3.9608	3.2552	3.30	2016年確定値

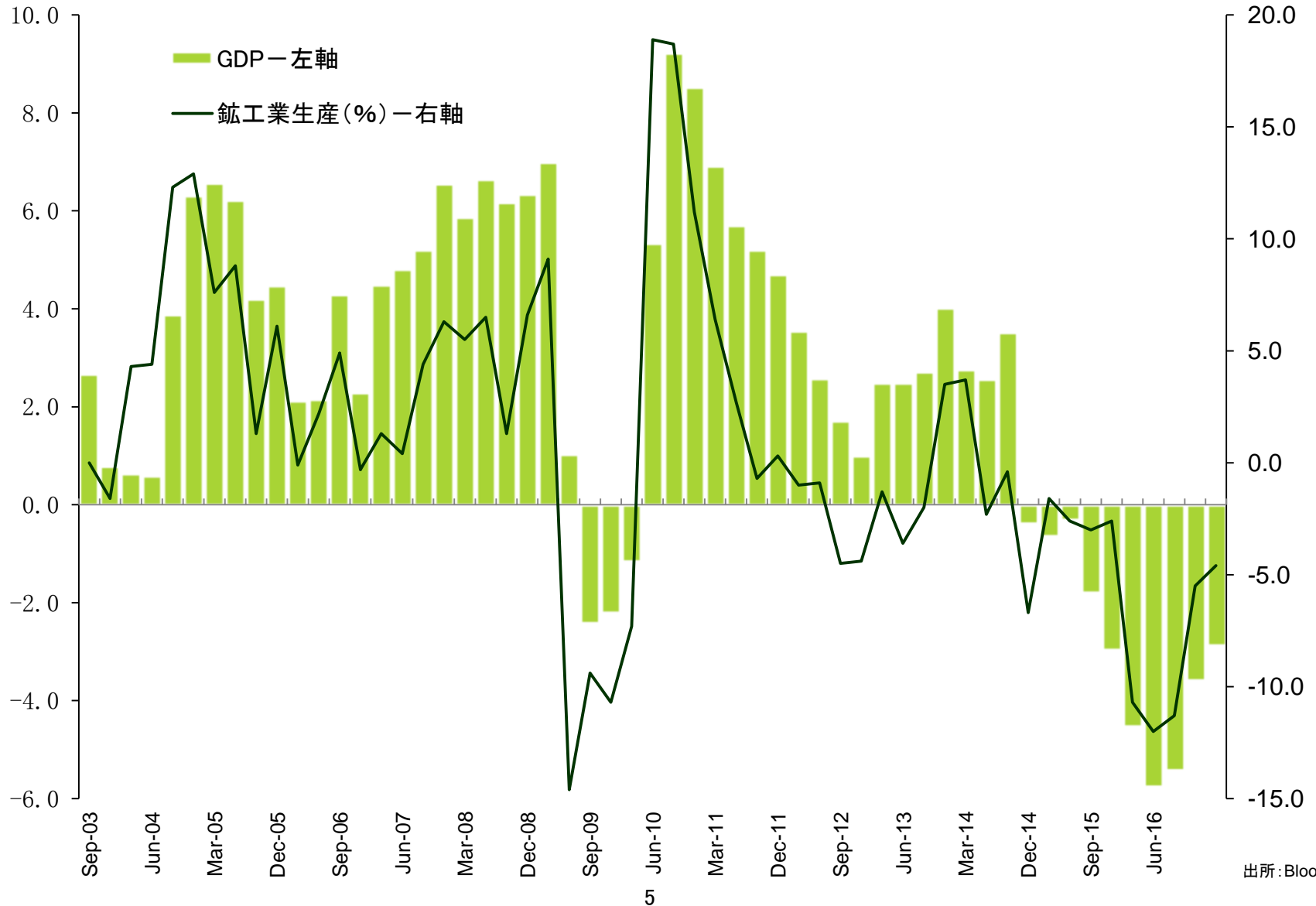
出所：ブラジル中央銀行、Focus(2017年2月17日実施)、IBGE、Bloomberg

# GDP成長率・鉱工業生産推移(四半期ベース)

金融部会

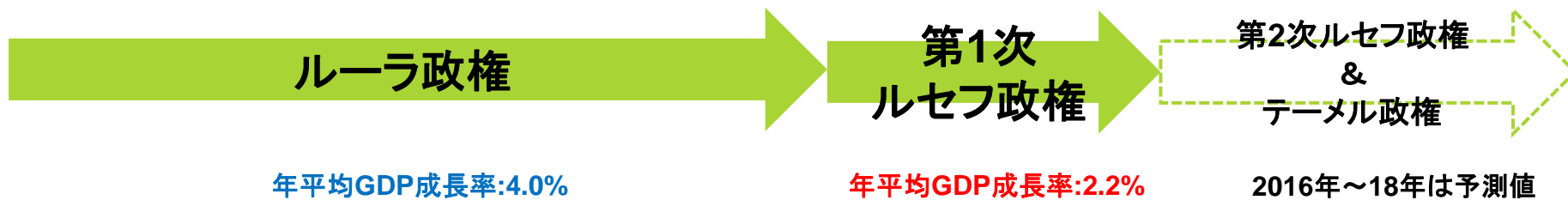
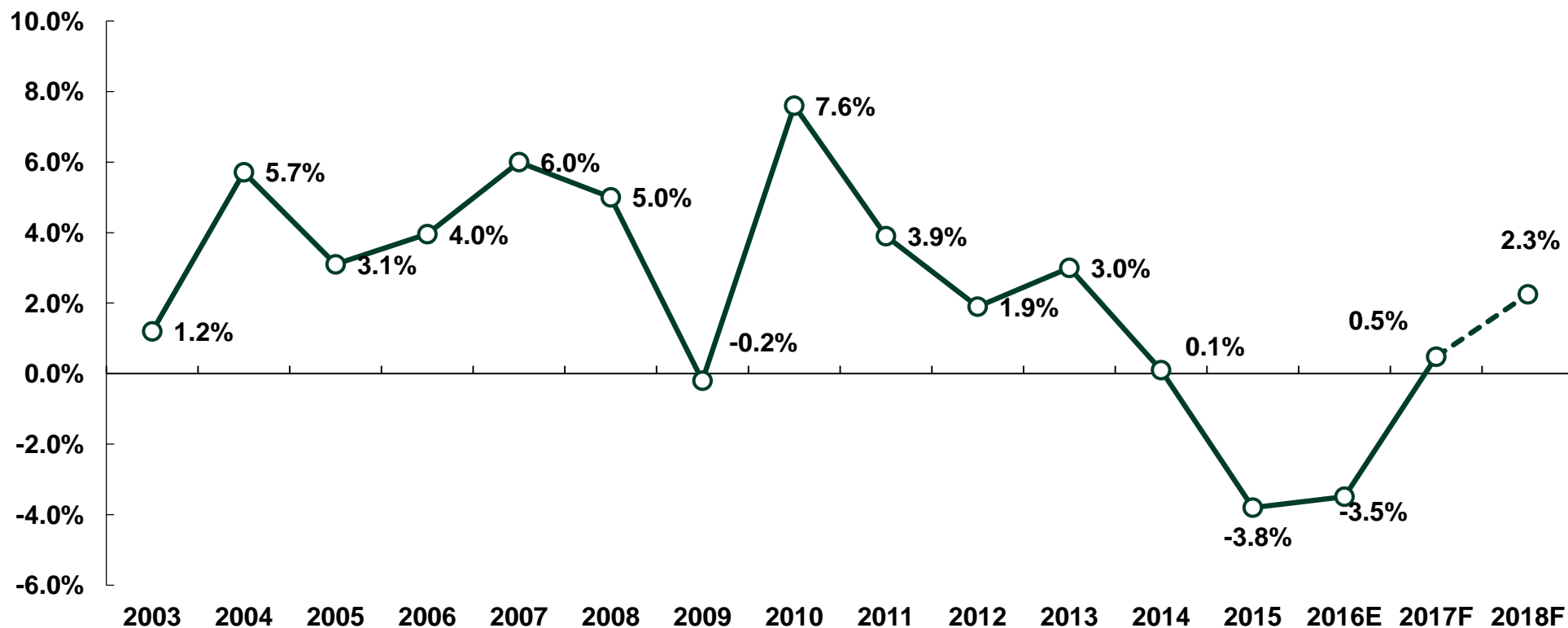
前年同期比(%)

前年同期比(%)



# GDP成長率推移

金融部会



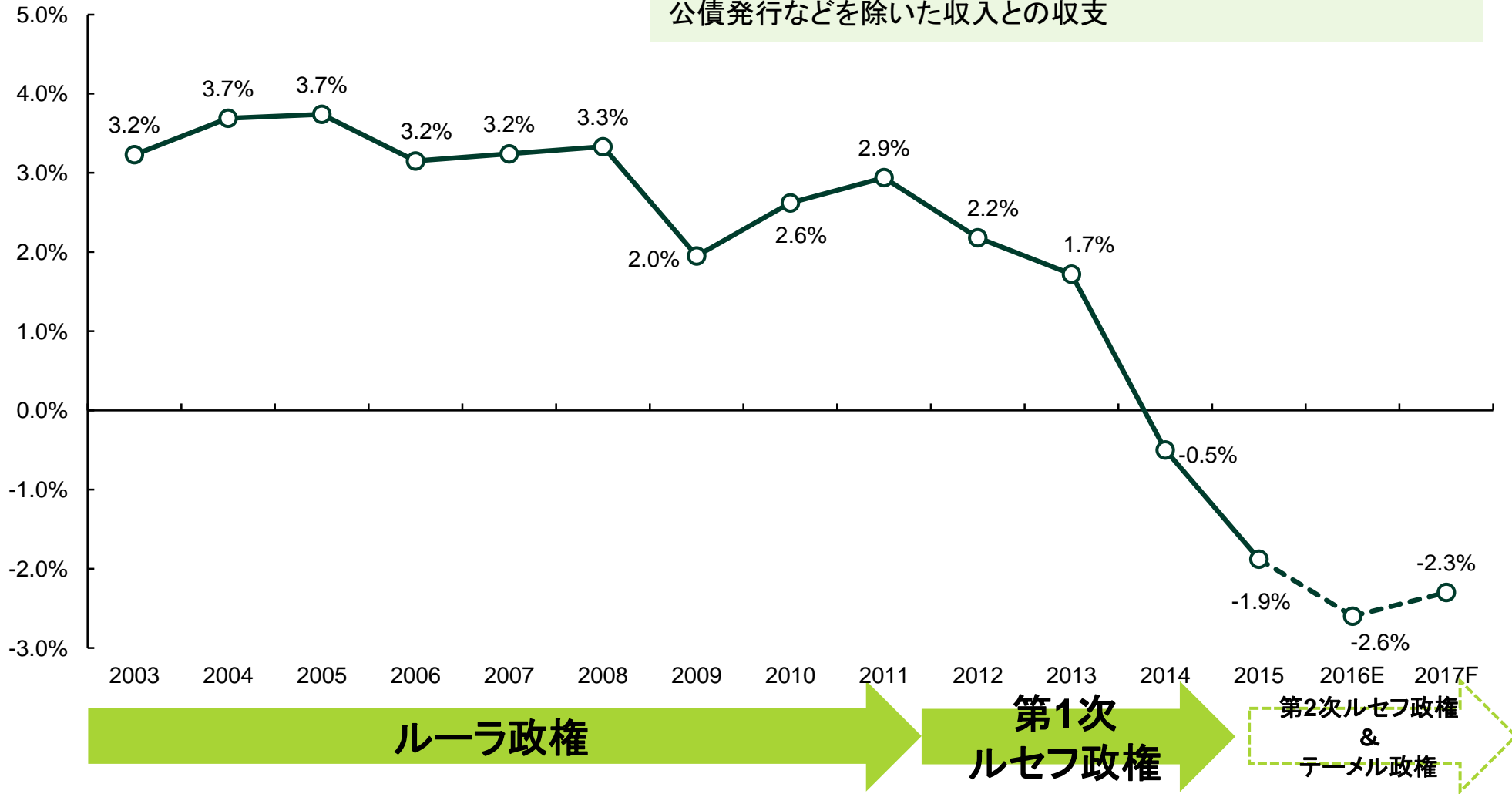
出所: 各種資料に基づき、ブラジル三井住友銀行作成

# 基礎的財政収支(対GDP比)

金融部会

## 基礎的財政収支

政府会計において、過去の債務に関わる元利払い以外の支出と、公債発行などを除いた収入との収支



2016年は予測値

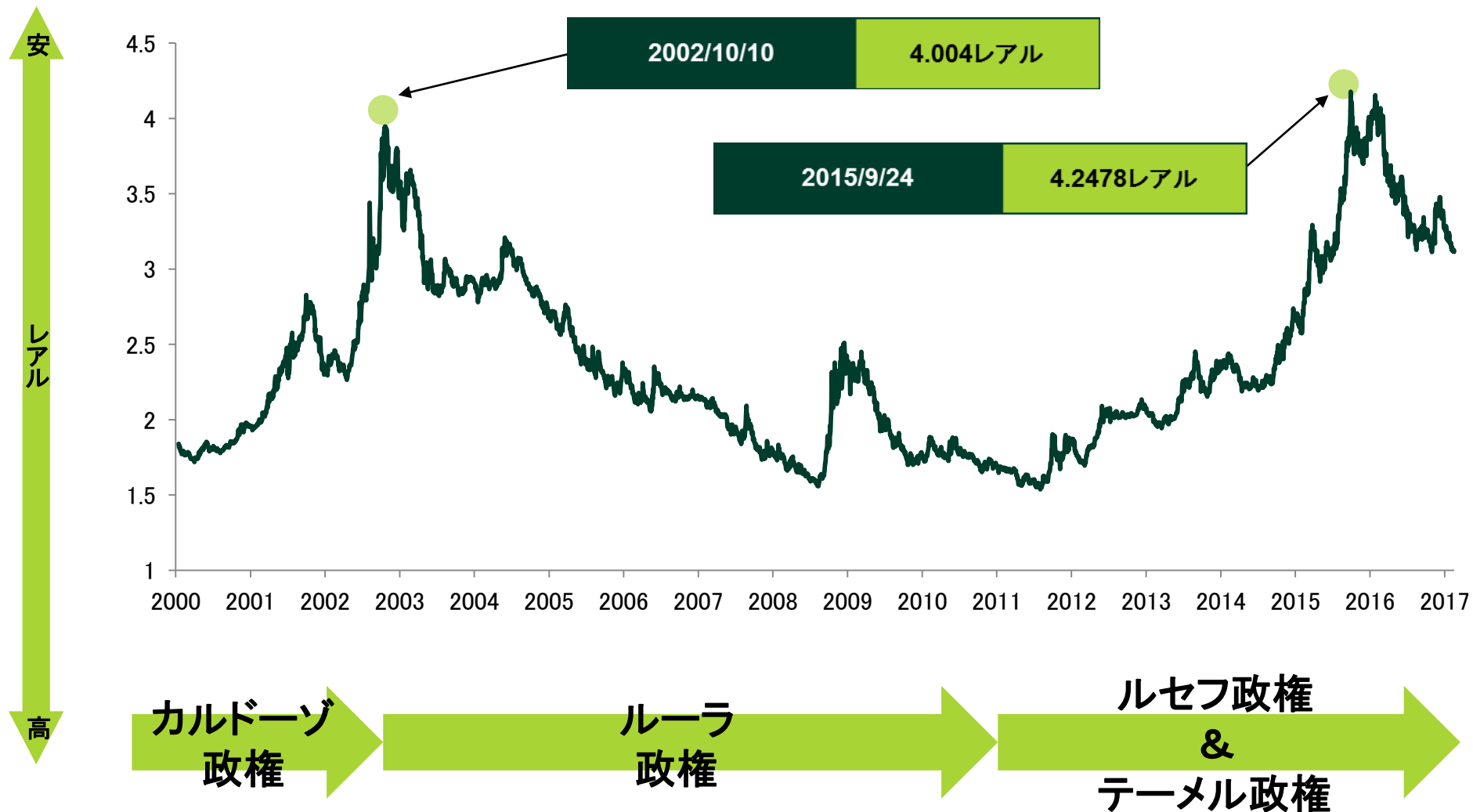
出所: 各種資料に基づき、ブラジル三井住友銀行作成



# 為替推移(リアル/ドル)

2000年1月から2017年2月17日迄

(リアル/ドル)



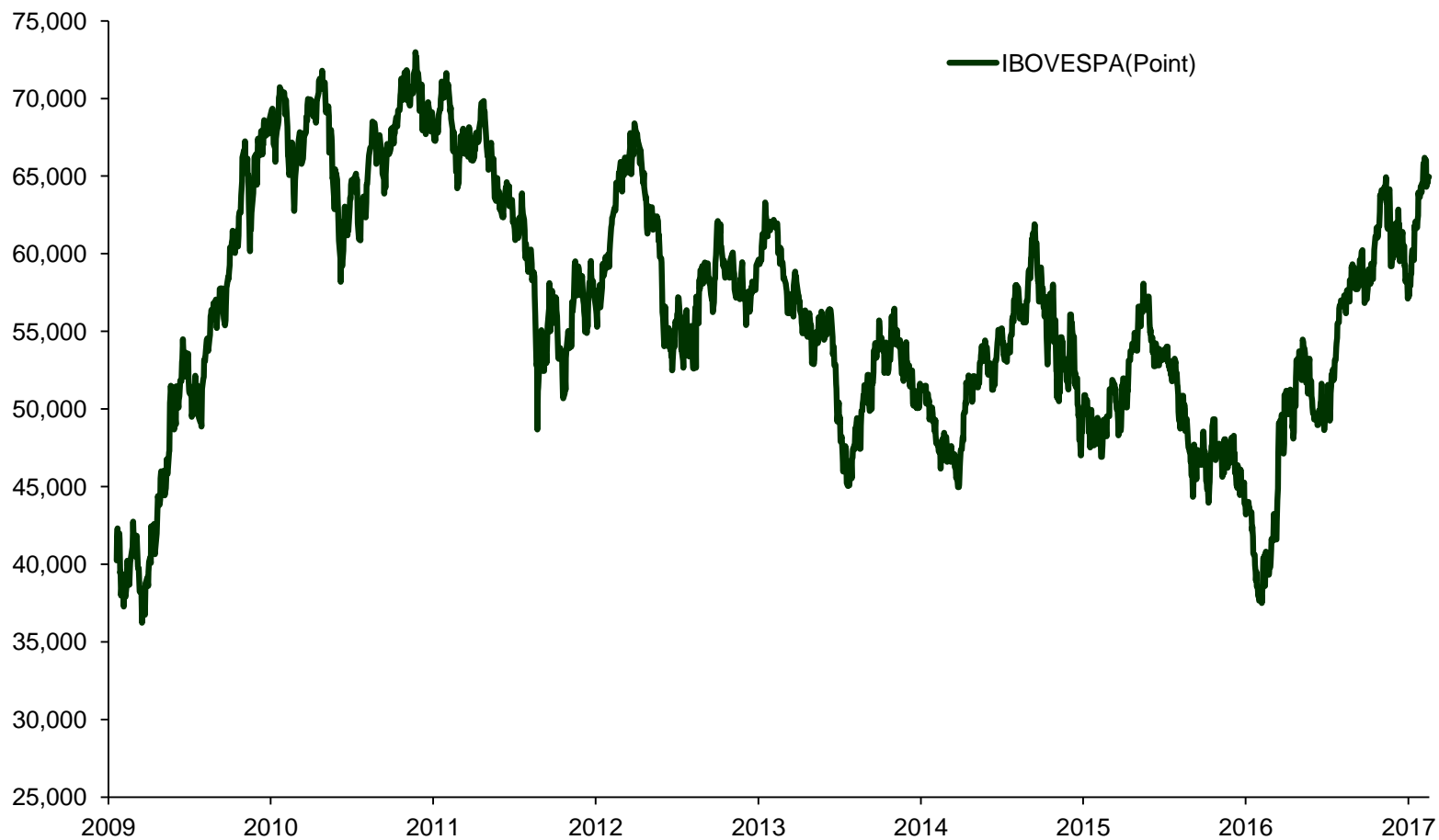
# 為替推移(円/リアル)

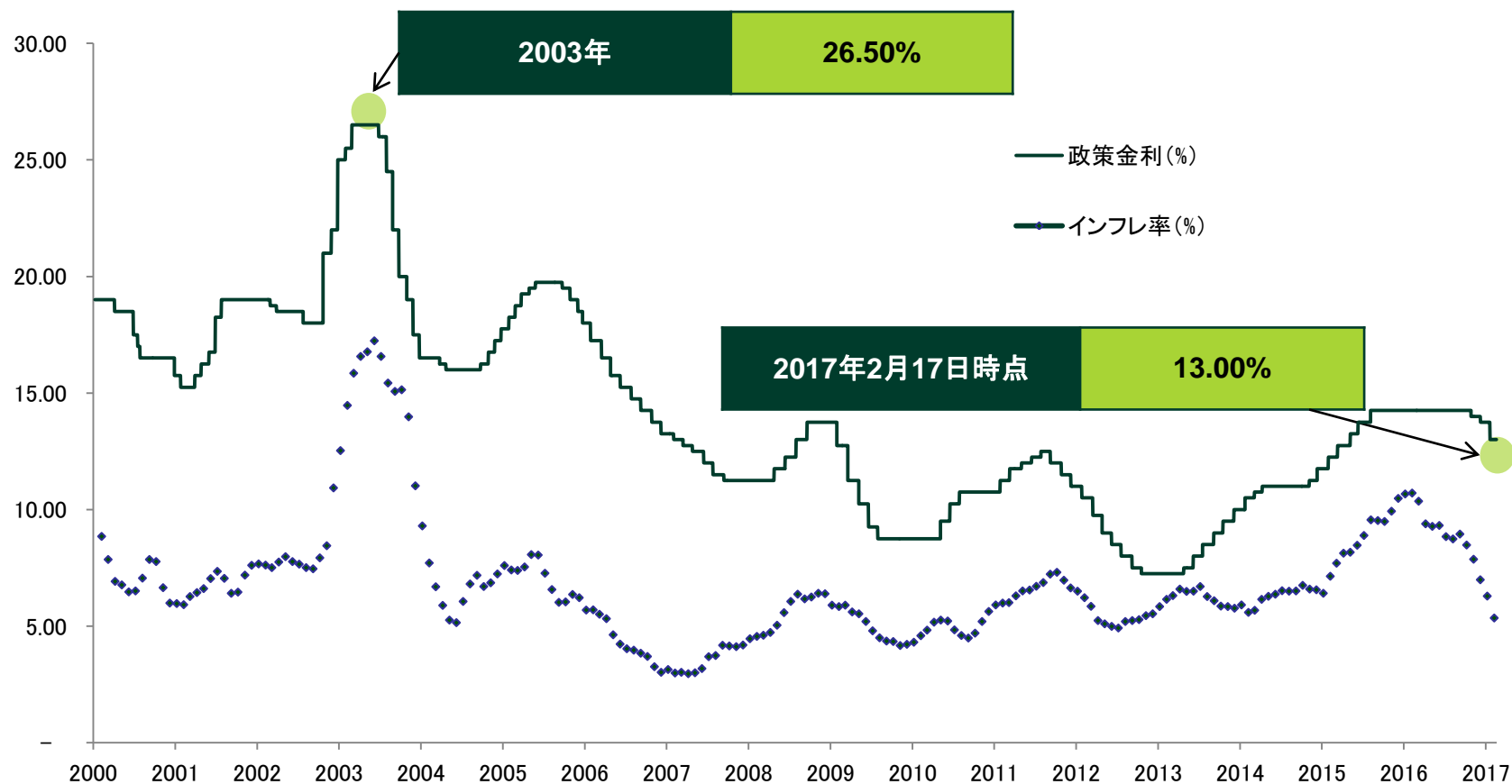
2000年1月から2017年2月17日迄

(リアル/円)

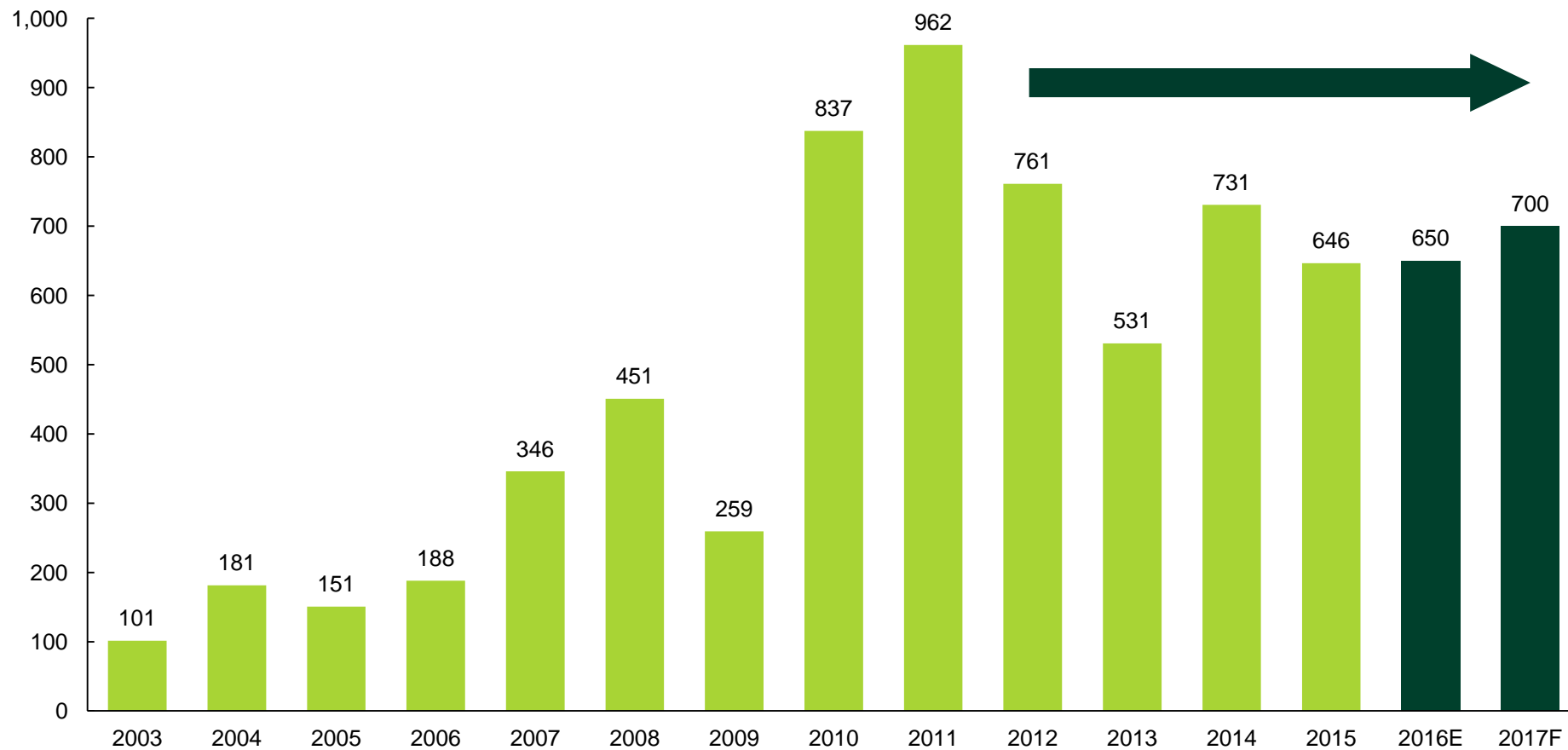


2009年1月から2017年2月17日迄

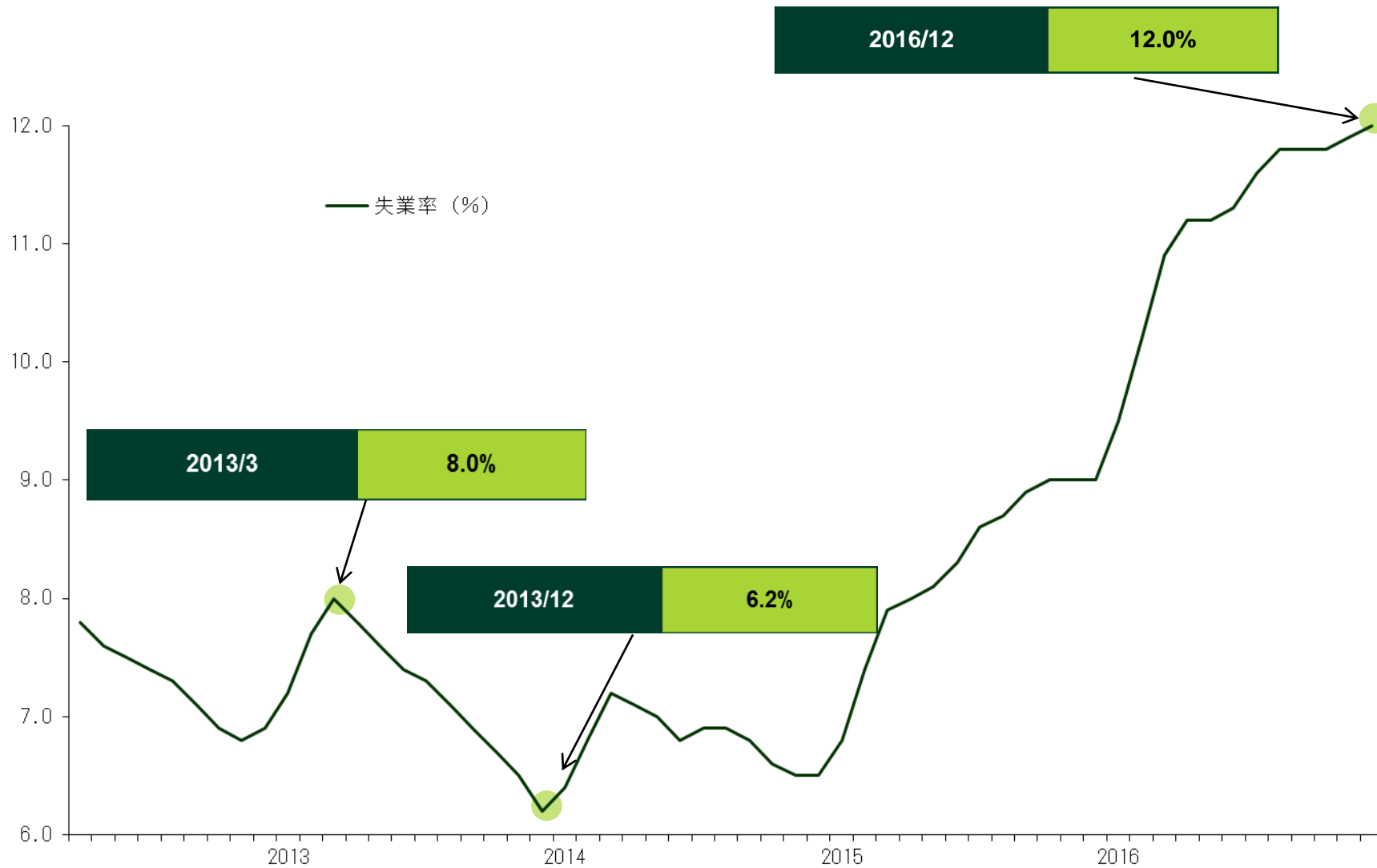




(億ドル)



# 失業率推移



# 2017年ブラジル経済の展望(予想値)

金融部会

指標	2016年		2017年		2018年	
	金融部会 予測値 2016年8月 シンポジウム 予測値	実績	Focus 予測値 2017/2/17	金融部会 予測値 レンジ	Focus 予測値 2017/2/17	金融部会 予測値 レンジ
GDP成長率 (前年比%)	▲2.20~▲3.80	▲3.49 (推定値)	0.48	0.50 ~ 1.00	2.30	1.00 ~ 4.00
インフレ率 (IPCA%)	6.91~7.50	6.29	4.43	4.50 ~ 4.80	4.50	4.00 ~ 5.00
年末為替レート (リアル/ドル)	3.00~3.40	3.26	3.30	3.10 ~ 3.40	3.40	3.20 ~ 3.50
年末政策 目標金利 (%)	13.25~14.25	13.75	9.50	9.50 ~ 9.75	9.00	8.50 ~ 10.00

ブラジル経済はいつ回復に  
転じるのか？  
その契機となるものは何か？

- テーメル政権の政策に対する市場の信頼が高く、先行き不透明感は払拭されつつあり。但し、実体経済の足取りは未だ重く、失業率についても2017年第2四半期にピークという見方あり。
- 為替安定、政策金利引下げにより、企業投資や個人消費が次第に活性化。2017年第3四半期以降には回復に転じる見込。

経済回復を見据えて、今、我々  
日系企業(日系金融機関として、  
日系企業全般として等々)が  
行うべきことは何か？

- 中長期ビジネスプランの策定
  - ・ 設備投資計画、資金繰り計画
  - ・ 優秀な人材確保
- 本社へのタイムリーな情報提供

アメリカ新大統領トランプ氏の  
政策がブラジルに与える影響は  
あるのか？  
ある場合には、それはどのような  
ものか？

- 直接的な影響は限定的
  - ・ 伯国の米国依存度は相対的に低く、トランプの政策フォーカスには伯国は入っていない。
  - ・ 米国の保護主義は、そもそも閉鎖的な伯国市場に影響は与えず。
- 間接的なプラス影響
  - ・ 米国の対中政策が厳しいものとなった場合、中国の旺盛な食糧需要のために、中国による伯国に対する更なる接近が予見される。また、中国の対米輸出減少分については、伯国の米国市場参入余地が発生。
  - ・ NAFTA見直しにより影響を受けるメキシコの南米市場回帰。
- 想定され得るマイナス影響
  - ・ トランプ氏の政策が齎す先行き不透明感から、ブラジルを含めた新興国に対する投資抑制が発生する可能性あり。



## 2. 銀行業界動向

## 貸出残高推移

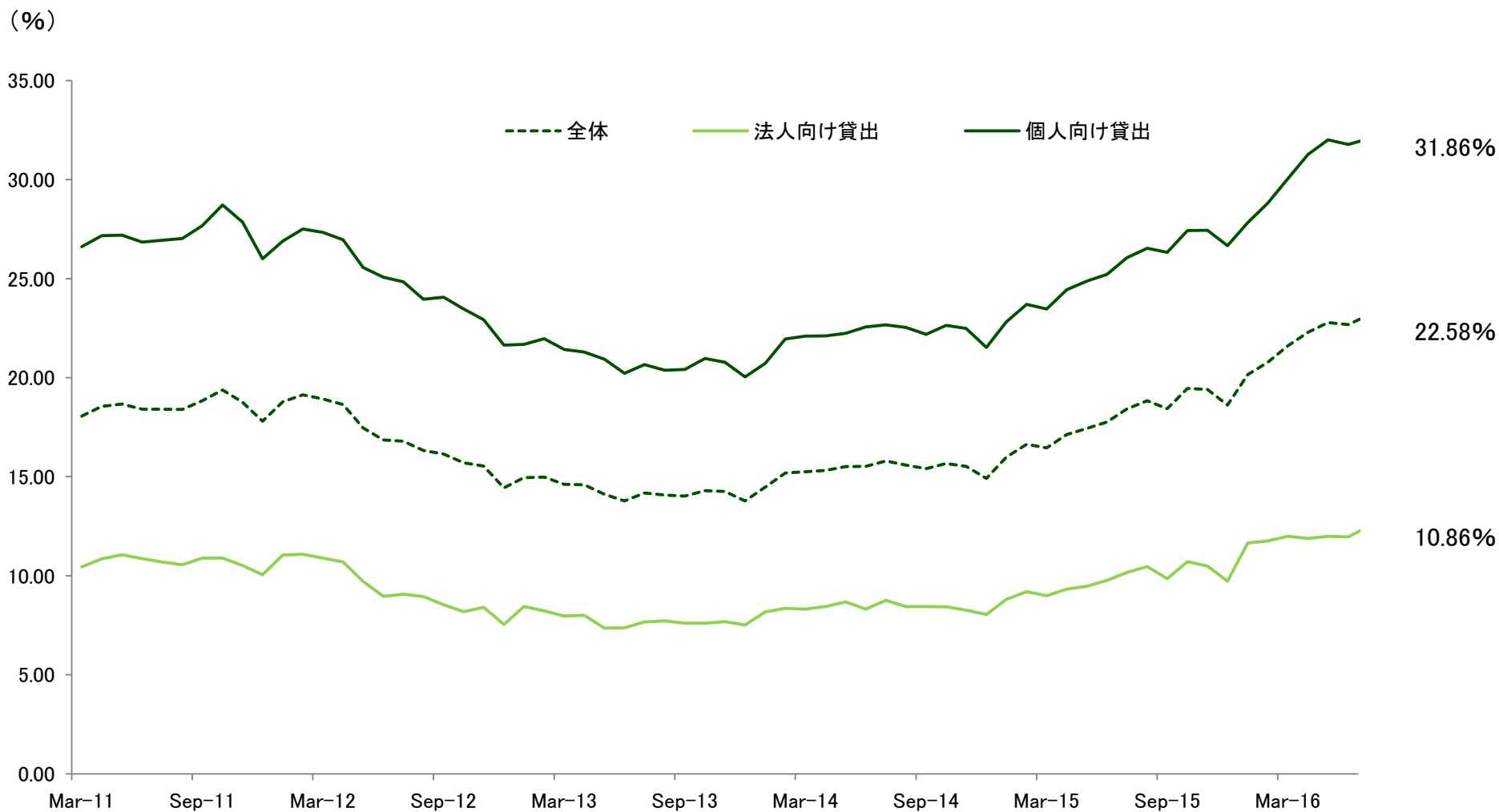
金融部会

(10億リアル)	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
個人向け貸出	920	1,074	1,246	1,412	1,512	1,561
(同増加率)	18.6%	16.7%	16.0%	13.3%	7.1%	3.2%
法人向け貸出	1,114	1,294	1,466	1,605	1,707	1,546
(同増加率)	18.9%	16.2%	13.3%	9.5%	6.4%	-9.4%
農業		20	22	24	25	24
(同増加率)		N. A.	10.0%	9.1%	4.2%	-4.0%
鉱工業		619	705	782	833	747
(同増加率)		N. A.	13.9%	10.9%	6.5%	-10.3%
サービス業等		655	739	799	849	775
(同増加率)		N. A.	12.8%	8.1%	6.3%	-8.7%
合計	2,034	2,368	2,712	3,017	3,219	3,107
(同増加率)	18.7%	16.4%	14.5%	11.2%	6.7%	-3.5%

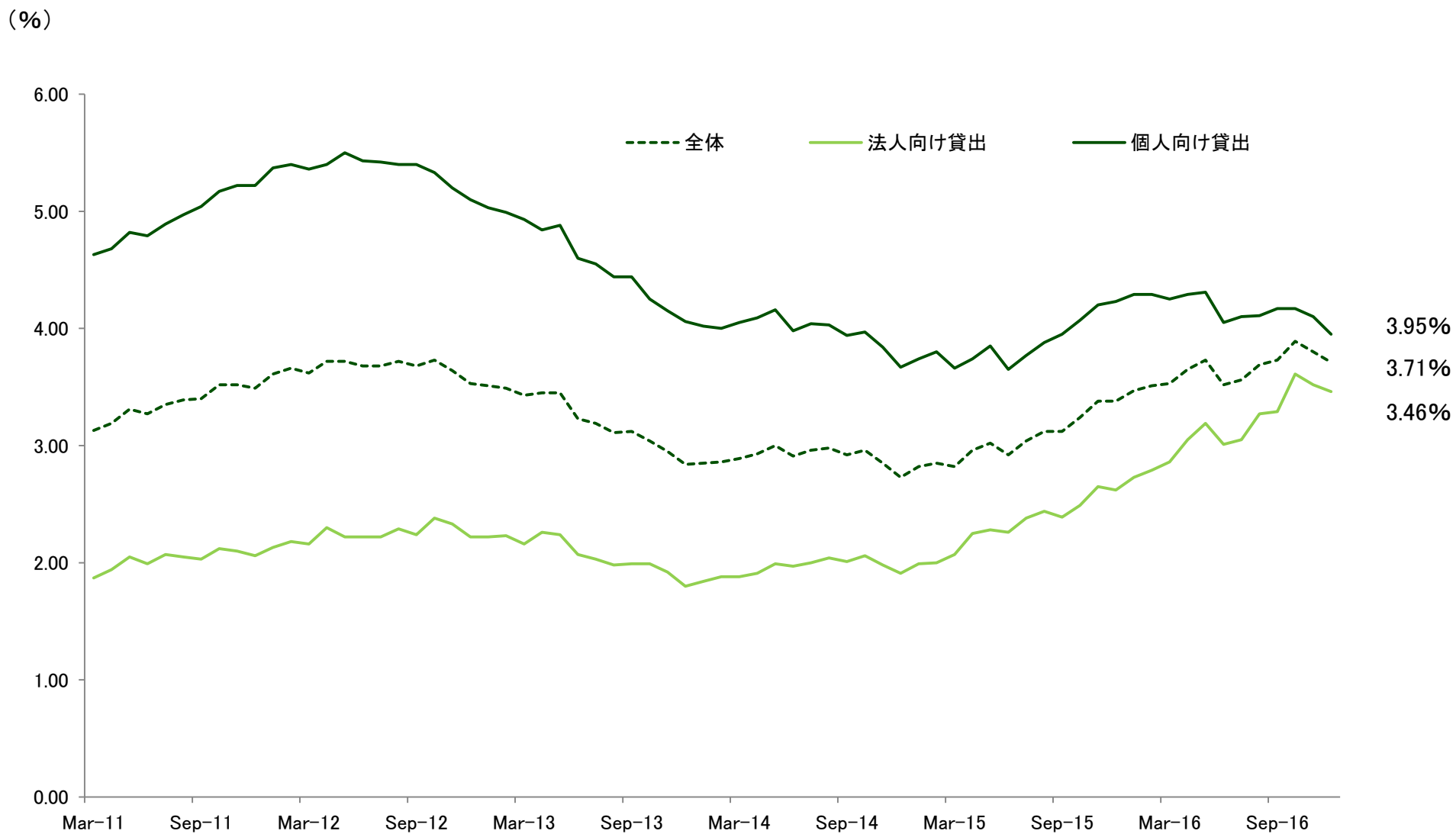
出所: ブラジル中銀資料に基づきブラジル三井住友銀行作成

# 新規与信に対する平均貸出利鞘推移

金融部会



# 不良債権比率推移

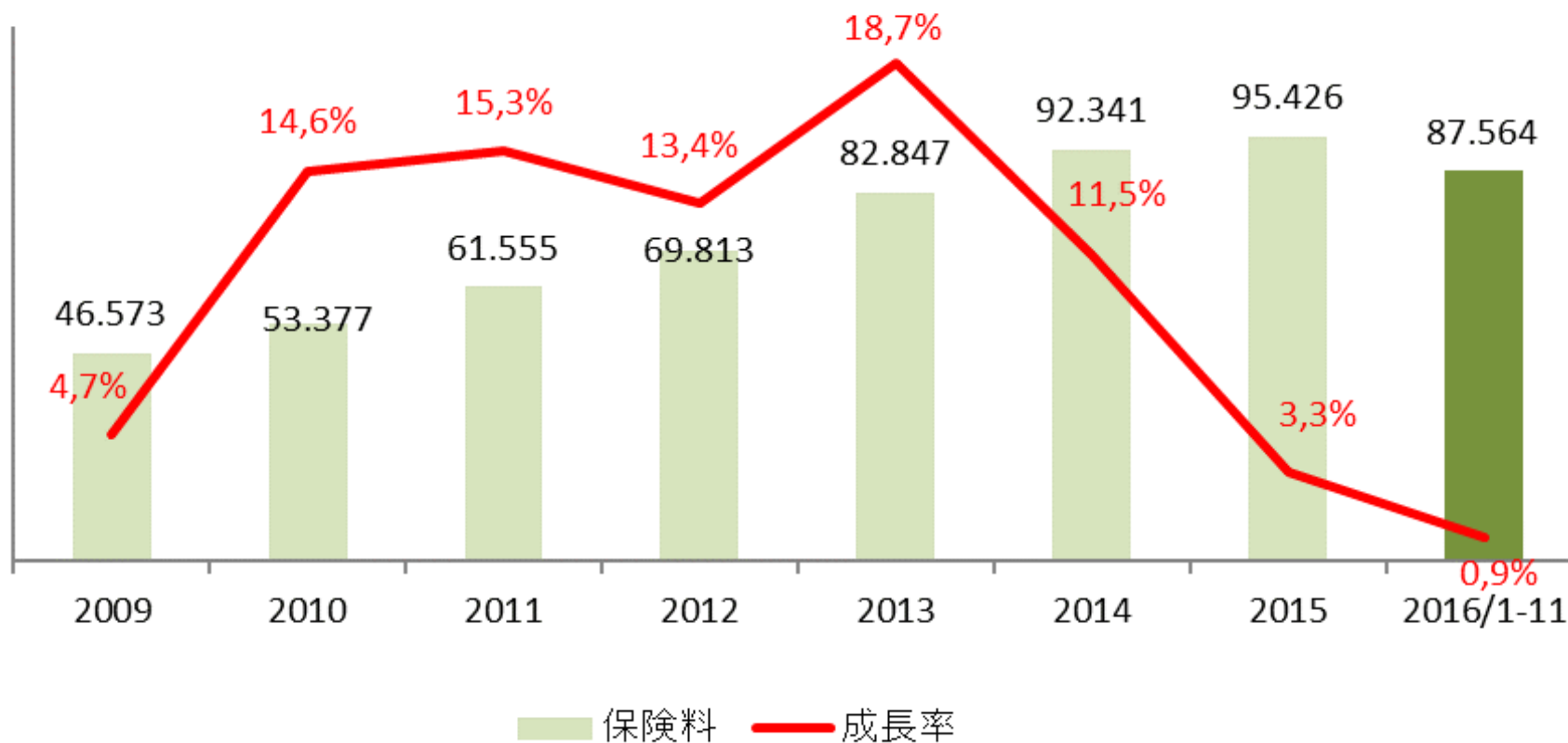


### 3. 保険業界動向

## ■ 保険料収入推移(除く年金、医療)

金融部会

単位：百万リアル

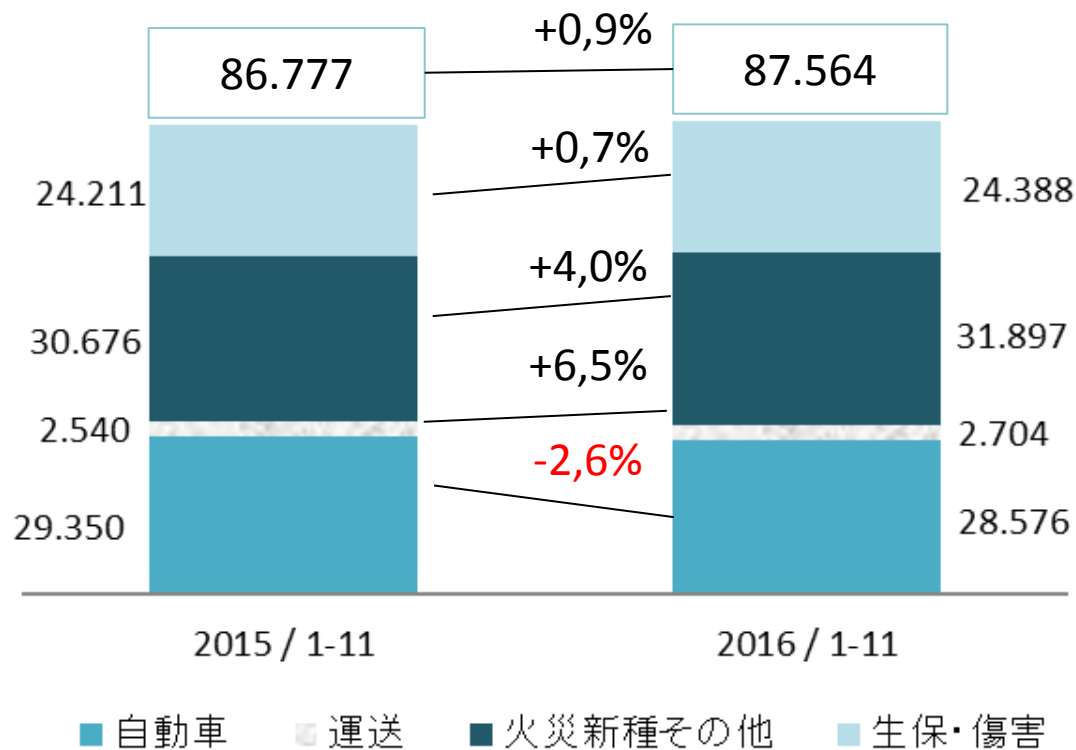


ブラジル経済の低迷に伴い、2015年に続き2016年も保険料収入の成長は鈍化。

## ■ 保険種目別 保険料収入

金融部会

単位：百万リアル



特に、自動車保険は新車販売台数の減少の影響を受け、保険料収入はマイナス基調。

保険種目	2015 / 1-11	2016 / 1-11	前年比
自動車	61,3%	64,9%	3,6 pt.
火災新種	41,4%	41,8%	0,4 pt
運送	58,3%	63,2%	5 pt
生命・傷害	29,5%	31,8%	2,3 pt
合計	46,2%	48,2%	2,0 pt

※グロス損害率

全体として損害率が2.0pt悪化、特に運送・自動車保険の損害率悪化が顕著。



2016年成長率見込み	2016 / 1-11
損害保険(自動車・火災新種・運送)	1.0%
生命・傷害	0.7%
合計	0.9%

2016年の成長見通しは、損害保険、生命・傷害保険共に1%程度の低水準。